

## 海外ニュース

## ウルグアイにおける果樹産業の現状

ウルグアイ・ラウンドという言葉は聞いたことがあっても、ウルグアイがどこにあるかを知らない日本人は多いと思う。地理的に南緯30～35度、西経53～59度の間にあり、日本からはちょうど地球の裏側で、飛行機で30時間余りかかる。温帯に属し、日本とほとんど同じ作物が栽培可能である。面積は17.6万km<sup>2</sup>で日本の約半分であるが、人口は約300万で1/40である。日本と逆に国土の85%以上が農牧林業に使用可能で、うち約95%が牧草地である。

## 1 栽培状況

日本とほぼ同様にカンキツが果樹の約半分である。1990年のデータではカンキツ、ブドウ、落葉果樹がそれぞれ栽培面積2.1、1.2及び1.2万haであり、農牧林業全体のわずかに0.3%である。一方、生産量はそれぞれ22.0、11.9、7.7万tであり、生産額にすると全体の3.8%になる。日本と1人当たりで比較すると面積は3.6倍、量は2.3倍となる。

生産地は南部地域（モンテヴィデオ周辺）が野菜とともにブドウ及び落葉果樹の主産地で、いずれも生産量の80%以上を占めているが、カンキツは10%位である。一方、もう一つの園芸地帯は北西部のウルグアイ河沿岸地域（モンテヴィデオから400～500km）で、ここではカンキツの栽培が盛んで約80%を占めている。

人口密度が低いこともあって経営規模は大きい。特にカンキツはその傾向が大で、栽培面積1500ha以上を大規模、80ha以下を小規模、その中間を中規模としており、単作が多い。これに対してブドウや落葉果樹は経営規模が小さく、単一作はむしろ少ない。生産者の土地所有形態は普通作や野菜作は小作が多く、自作が50%以下であるのに対して、果樹は自作が約80%である。

## 2 栽培品種

カンキツでは1989年のデータではオレンジ55、レモン24、マンダリン17、グレープフルーツ4%である。オレンジはパレンシアが最も多く、他はネーブルである。マンダリンはエレンデルとウンシュウミカンで70%以上を占めている。ブドウはイサベル、タナートなどの古い品種が多かったが、ワインの質が劣るので最近フランスやドイツの高級ワイン用品種などへの改植が進んでいる。リンゴはデリシャス系が75%以上、モモはレイデルモンテが40%余り、ナシではバートレットが94%、マルメロはマンサーナが60%というようにある特定の品

種の栽培が多く、一般に品種に乏しい。

## 3 果実の消費と販売

国民1人当たりの年間消費量は、野菜の93kgに対して果物は28kgである。その内訳はリンゴ44、モモ26、カンキツ10、ナシ9、スモモ7、ブドウ4%である。

生産果実の行先は、ブドウは95%がワイン用である。しかし最近生食用が増加傾向にある。落葉果樹は主として国内で生果で消費されている。輸出は南米共同市場の域内でごくわずかである。これに対してカンキツは近年徐々に輸出が増加し、1990年代に入って生産量の40%台に達している。北半球と収穫期が逆であること、カンキツの国際価格が最近高騰していることなどが輸出が活発になった主な理由である。南米の他の国と異なって生果を輸出しているのが特徴で、輸出先はECでは主にオランダとイギリス、その他北欧、東欧を含めて90%を占めている。大規模生産者は自己のバックアップハウスを持っているが、一般には協会あるいは組合に組織化されている。輸出量は国際価格によって左右され、最近マンダリンが増加してレモンが減少している。

## 4 病害虫

カンキツでは古い園でのソローシスによる衰弱枯死とかいよう病が問題である。後者の対策として発生園の伐採、焼却を行ってきたが根絶には至っていない。菌類病ではそうか病の果実の被害が輸出に影響している。害虫ではカイガラムシ類、ダニ類、コナジラミ、スリップス類がキーベストとされている。春先から収穫期に至るまで10回ぐらい薬剤散布が行われている。防除費は1ha当たり200～400ドルの範囲で、いずれも全生産コストの20%前後である。ブドウではリーフロールの被害が大で、最近ウイルスフリー苗への改植が進められている。河川の沿岸で高湿の産地では黒とう病とべと病の被害が大きい。収益性の悪さからたとえ有効でも高価な薬剤は使えないという問題を抱えている。害虫ではハマキムシ類とアザミウマ類の被害が知られている。落葉果樹では枝幹病害、根腐病、ナシヒメシンクイ、コドリリングが問題である。

## おわりに

中小規模生産者の経営改善を目標に技術協力を行ってきたが、経営規模の大きさから日本式のきめこまかい栽培技術がそのまま応用できないことは当然である。ウルグアイの自然条件、経営形態などを十分頭に入れてかからねばならないことを痛感した次第である。

(田中寛康)